

光ファイバー網がつつなぐ幌延の未来

幌延町地域情報通信基盤整備事業がスタートします

今年度、町では国の「地域情報通信基盤整備推進交付金」と「経済対策公共投資臨時交付金」の交付を受け、残りは「町債」により『幌延町地域情報通信基盤整備事業』を実施します。

昨年の町政懇談会や町広報誌などでも概要をご説明してきましたが、いよいよ本格的に事業が実施され、来年春までには皆さんにご活用いただく予定です。今月号から数回にわたって、この事業について詳しくご紹介していきます。

なぜこの事業を行うのか

現在、町内では高速インターネットの接続ができない地域があったり、地上デジタル放送が視聴できない地域があったりと、情報の

格差が生まれていました。

こうした格差を解消し、幌延町に住む全ての住民が、同じ条件で利用できる公平な情報通信基盤を提供し、併せて双方向コミュニケーションによる安全・安心のまちづくりを図るため、この事業を行うものです。

どんな事業なのか

今回実施する『幌延町地域情報基盤整備事業』とは、町内全域を光ファイバーで結び、地上デジタル放送の難視エリア対策、双方向告知通信システムによる防災や行政情報の伝達などを行います。また、光ファイバーを結ぶことにより、町内全域で高速インターネットの利用が可能となります。

◆地上デジタル放送の難視エリア対策

難視聴世帯(下沼・字幌延の一部・北進・上幌延・開進等が予想されます)へは、光ファイバーで放送データを送信し、専用接続機器から同軸(テレビ専用線)でテレビに接続するものです。この接続機器の設置や工事は、町が無償で行います。

◆双方向告知通信システム

双方向告知通信システムを全戸に導入し、老朽化が著しい防災無線と連携し、災害時の緊急放送や行政情報の伝達、地域コミュニティの連絡などに活用します。

端末機は全戸に無償貸与

し、町からのお知らせなどを音声と画像で放送します。操作は画面にタッチするだけです。なので、どなたでも気軽に使っていただけますし、何度でも再生することができます。

また、この端末機には電話機能もついており、町内の端末機同士でなら無料で電話をかけることもできます。

このシステムを設置するための工事についても、町が無償で行いますが、各機器は国の交付金で整備するものなので、各世帯から申請書を提出していただき、適正に管理していくことになります。

◆インターネットへの接続

皆さんの家庭のインター

ネットを、フレッツ光に接続することができます。(希望者のみ)

インターネットについては、(従来からの)通常の手続きとなりますので、プロバイダと言われる通信事業者との契約が必要となり、別途料金が発生します。フレッツネクストの料金ですとおおよそ5千円〜6千円程度となります。

事業実施に係るお願い

この事業は、4月から詳細設計、電柱等への共架申請、センター施設の設計工事等を行い、電柱への光ファイバー敷設工事は6月下旬頃から始まる予定です。皆さんの住宅への引き込み工事は7月下旬頃から実施